あとがき

香川大学を定年退職した四年ほど前に、その記念として『地域にみる讃岐の近世』をまとめました。その構成内容は、香川県下の自治体史の編さんや讃岐地域史に関する出版で、それまで讃岐近世史について執筆してきた概論的な文章のうちから、「高松城下町と金毘羅」・「村と農民」・「塩飽と小豆島」のテーマで整理したものとなっています。

これらのテーマの内容のものとは別に、関係しました『香川県史』等の自治体史の編さんでは、主として讃岐近世の藩政の歴史を担当してきました。ご承知のように近世の讃岐には生駒藩、丸亀山崎藩、高松松平藩、丸亀京極藩、多度津京極藩が成立しました。

『香川県史』や『新編丸亀市史』等で生駒藩、高松藩、丸亀藩の藩政史について執筆してきましたが、残っていました多度津藩についても、その後部分的ですが藩政の動きについて『高瀬町史』でまとめる機会を得ることができました。

執筆してきましたこれらの讃岐の各藩の概略的な通史については、史料的制約があり、まだ不十分な内容のものであることはいうまでもありませんが、これからの讃岐の近世地域史の研究にとってなにか役に立つことができるではないかと考え、『地域にみる讃岐の近世』の姉妹編として本書をまとめることにしました。今後の讃岐の近世史の研究が本書を礎にして発展していくことを期待しています。

本書の内容を構成している各藩の節ごとに主として関係する自治体史の出典を、またその節のうち小見

出しの内容が別の自治体史からの場合にその出典を示すと次のとおりです。ただし1章生駒藩3節2項の「幕府の裁定」、3章丸亀藩3節1項の「宝暦・天明期の藩財政」は例外の表示となっています。元になった自治体史とは異なった表題のところが多くあります。内容はほぼ同じですが、一部については修正や加筆をしています。

なお、補論としてⅠは藩政史の概略とその特徴を、Ⅱは高松藩・丸亀藩の国産統制のありかたを理解する参考として収載しました。

1章生駒藩

1節生駒藩の成立（『香川県史3・近世Ⅰ』）

高松城と丸亀城（『高瀬町史』）

2節寛永期の生駒藩（『香川県史3・近世Ⅰ』）

満濃池の築造（『新編丸亀市史2・近世編』）　秋山一忠と生駒高俊（『高瀬町史』）

3節生駒騒動（『香川県史3・近世Ⅰ』）

2幕府の裁定（『新編丸亀市史2・近世編』）

2章高松藩

1節高松藩の成立（『新編丸亀市史2・近世編』）

松平頼重の入封（『香川県史3・近世Ⅰ』）

2節元禄・享保期の政治（『香川県史3・近世Ⅰ』）

3節宝暦改革と「享和新法」（『香川県史3・近世Ⅰ・同　4・近世Ⅱ』）

綿の統制（『新編丸亀市史2・近世編』）　砂糖生産の始まり（『新編丸亀市史2・近世編』）
4節天保改革（『香川県史4・近世Ⅱ』）
5節幕末の動向（『新編丸亀市史2・近世編』）
3章丸亀藩
1節丸亀藩の成立（『高瀬町史』）
山崎家時代の井関村（『新修大野原町誌』）　年貢の徴収（『善通寺市史・第二巻』）
2節享保の政治（『新編丸亀市史2・近世編』）
藩札の流通状況（『高瀬町史』）　江戸屋敷類焼（『新修大野原町誌』）
3節藩財政と国産統制（『高瀬町史』）
1宝暦・天明期の藩財政（『新修大野原町誌』）
日用銀の上納（『新編丸亀市史2・近世編』）　商品生産の発展（『善通寺市史・第二巻』）
江戸藩邸の財政（『新修大野原町誌』）　新堀湛甫と江戸講中燈籠（『新修大野原町誌』）
4節安政改革（『高瀬町史』）
「異国船御手当」御用米（『新修大野原町誌』）
5節幕末の動向（『新修大野原町誌』）
慶応元年の借銀整理（『新編丸亀市史2・近世編』）　農兵の取立（『善通寺市史・第二巻』）
4章多度津藩
1節多度津藩の成立と陣屋建設（『高瀬町史』）

２節幕末の藩財政と軍事強化（『高瀬町史』）

補論藩政と国産統制

Ⅰ藩政の展開と農民（『香川県立文書館紀要』第九号　平成十七年三月）

Ⅱ高松藩・丸亀藩の国産統制（『二〇〇三年度・中国四国歴史学地理学協会研究大会報告集』平成十六年三月）

本書は讃岐の近世に関する多くの古文書等を史料として使用し記述されています。史料調査に際しては、所蔵されている方々や資料館等のご理解とご協力をいただいた賜だと、心より有り難く思っている次第です。また本書への転載を許可していただいた香川県をはじめ丸亀市・善通寺市・旧高瀬町・旧大野原町等や、香川県立文書館・中国四国歴史学地理学協会、口絵の掲載をご了解下さった方々や資料館等に深く感謝の意を表します。本書の編集に当たり美巧社の十鳥二郎氏には大変お世話になりました。

最後になりましたが、本書の出版をお引き受けいただいた池上任美巧社会長に、厚くお礼を申し上げます。

平成十九年二月二五日

木原溥幸